

各位

2025年2月12日
株式会社リットーミュージック謎多きヴィンテージデニムを深掘りした書籍、『WAR DENIM 神格化された「大戦モデル」を
解説する』が発売に

『501XXは誰が作ったのか?』からさらに深化したワークウェア研究の決定版!

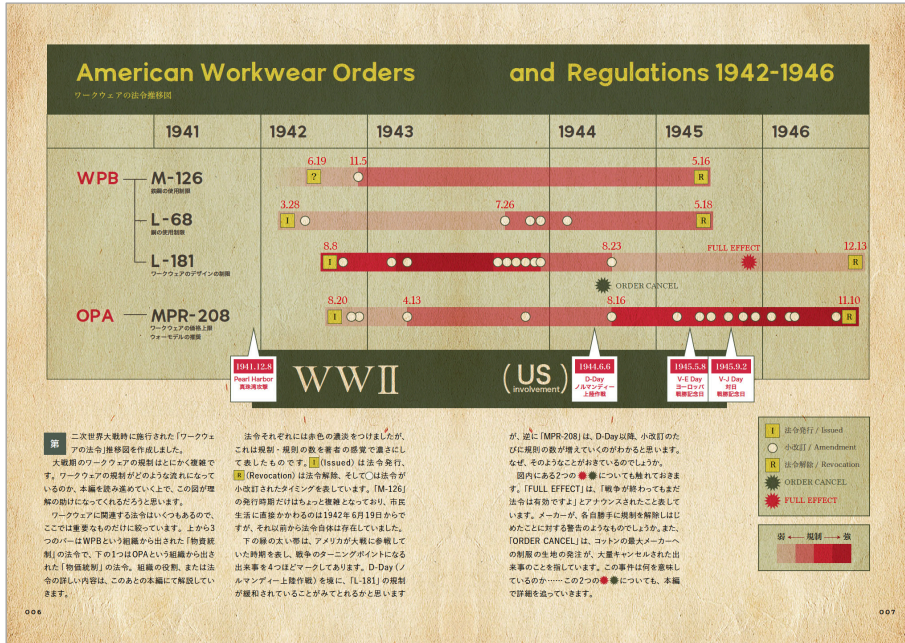


インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）内で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『WAR DENIM 神格化された「大戦モデル」を解説する』（青田充弘 著）を、2025年2月26日に発売します。

ヴィンテージ市場でも高値が付けられ、人気を誇るいわゆる「大戦モデル」はさまざまな憶測や思い込みを元に語られることも多く、その実像はあまり知られていないのが本当のところ。そんな大戦モデルがいかにして生まれ、どのようなバリエーションがあり、どうやって終焉を迎えたのかを、『501XXは誰が作ったのか?』の著者である青田充弘が研究した成果が本書にまとめられました。

カラーページを含む豊富な写真や資料の数々から読み解いていく、簡素化モデルとウォーモデルの変遷には新発見がたくさん含まれていて、まさに目からウロコ。「大戦中のリーバイス 501XX 都市伝説」という章も設けられ、ヴィンテージデニムの常識が書き換えられることは間違いないでしょう。

ヴィンテージデニム愛好家は、必読の1冊となっています。



03

「FOR THE DURATION」
とフラッシュャーに記された Levi's S501XX (c.1943)

こちらは、物資統制の規制 [L-181] と物資統制の規制 [MPR-208] に基づき、簡素化モデルのS501XXの例、フラッシュャーから「FOR THE DURATION」の表記が完全に消えている。戦時規制下を意味する「FOR THE DURATION」が赤字で強調されている。細々と書かれている部分には、さまざまな規制による完全な消滅と材料の変更が示されている。

具体的な法令としては [L-181] が明記されている。戦時「All current Regulations, Modifications and Amendments」と記載されているのは、この本編でも紹介する現行の法規制、及び小改訂のすべてを指しているのだらう。なか、革マルにはフラッシュャーの後に「S」が記されていて、簡素化された上製規格を守っていることを意味している。

また、[L-181] によれば、1942年8月15日からボタンのスタンプが機械製ボタン (machine stitching) とみなされ規制対象となり、Yours社は苦肉の策としてオレンジ色のペイントで代用している。このスタンプは廃止して1873年にも用いていたことをフラッシュャーで宣言しており、フラッシュャーの下端がデザインスタンプに似たような形状でボームを記している。

UNITED STATES PATENT OFFICE

Let there be a Corduroy Button, Dear!

Act of February 26, 1945

Application September 25, 1943, Serial No. 692,769

STATEMENT

To the Commissioner of Patents:

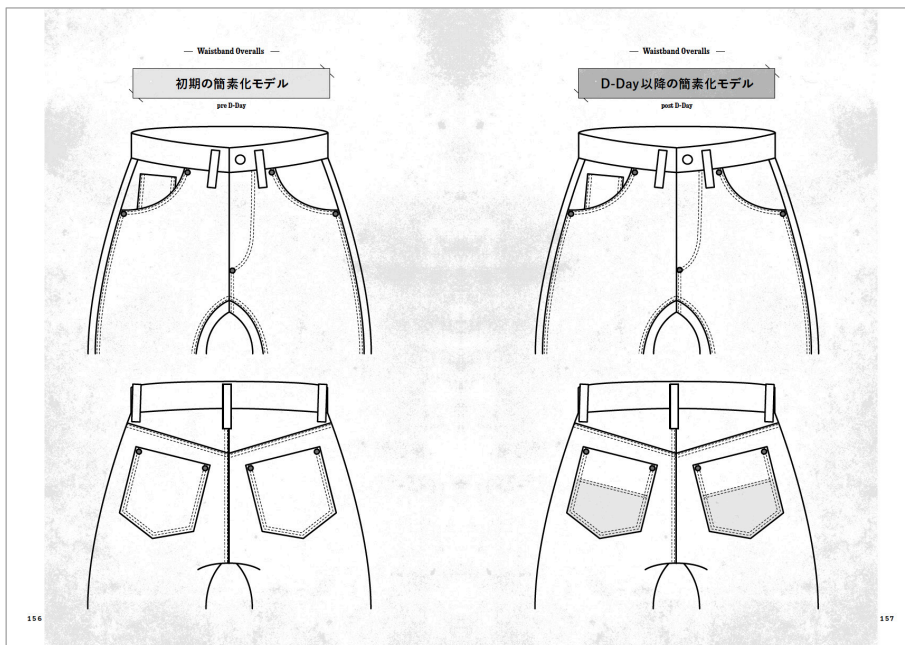
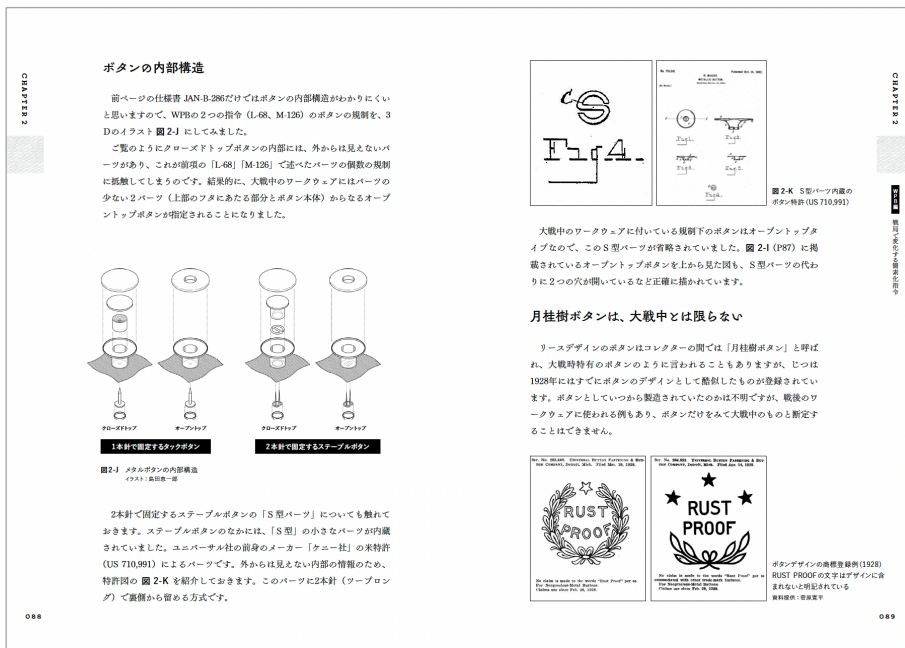
Levi Strauss & Company, a corporation duly organized under the laws of the State of California, and doing business as such, do hereby certify that the above described device is the invention of the undersigned inventor, and that he is the author and owner of said invention, and that he claims the same as his own.

The undersigned hereby certifies that the above described device is a new and useful improvement in the construction of buttons, and that he is the author and owner of said invention, and that he claims the same as his own.

Very truly yours,
Levi Strauss & Company
By: *Levi Strauss*
President

Witness my hand and the seal of the Patent Office this 15th day of February, 1945.

不可解なのは、このアーキエイトスタンプの規格変更の申請は1942年8月25日であり、正式な発給は1943年11月16日。初めての発布から登録までの間に1873年から使用してきたことを新規格の資料の記載は必要ではないはずで、登録が既成事実のため、それともマークが登録していたのか、要するに、登録してはいたとしても、登録された内容を文字通りにみれば「The double arcuate design」になっているので、上下向きでも規格に適合するようになるのが面白い。



■ 書誌情報

書名：WAR DENIM 神格化された「大戦モデル」を解読する

著者：青田充弘

定価：3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

発売：2025 年 2 月 26 日

発行：立東舎 / 発売：リットーミュージック

商品情報ページ <https://rittorsha.jp/items/25317406.html>

CONTENTS

ワークウェアの法令推移図

ARTICLE 大戦モデルカタログ

CHAPTER1 大戦モデルの基礎知識
CHAPTER2 戦局で変化する簡素化司令
CHAPTER3 国民共用作業服 ウォーモデルの登場
CHAPTER4 生地メーカーへの規制
CHAPTER5 大戦中のリーバイス 501XX 都市伝説
CHAPTER6 H.D.Lee と大戦モデル
図解 簡素化モデルの変遷

PROFILE

青田充弘（あおた・みつひろ）

青山学院大学大学院卒。専攻は化学。理工学修士。大手電子部品メーカーでの材料開発時代に、飛行服にかんするデータの集大成として「FULL GEAR」（2005年 / 絶版）を出版。2万円の自費出版本が完売したことで話題となる。2冊目の「ZIPPER GEAR」（2013年）では、史上初めてジッパーの年代解読に成功。1890～1930年代のアメリカンジッパーにかんする世界初の専門書となる。その後、知られざるリーバイス史の真相に切り込んだ研究書「501XX は誰が作ったのか？」（2018年）を上梓。

【立東舎】 <https://rittorsha.jp/>

立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp